

四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 3 月 15 日

No. 4

3 月 9 日（火）14 時 30 分より四谷第四小学校会議室で第 4 回の協議会が開催されました。

今回は、これまで空席になっていた四小学区域の町会関係者代表の協議員が決まり、新たに協議に加わっていただきました。

前回に引き続き、主に新校の校地について協議され、四小の地域関係者の四小にかける思いと、各校 PTA の方々の、子どもたちのために、クラス換えの出来る良い学校を早く作りたいという熱い思いが交錯し、白熱した意見交換が行われました。

その結果、座長の提案により、校地等の決定はいったん教委に預け、次回に教委がタタキ台となる案を示すことになりました。

主な発言内容は下記のとおりです。次回は 3 月 22 日（月）の 19 時より、四谷第三小学校で開催の予定です。

主 な 発 言 内 容

- ・ 一小と三小は小規模化のため、平成 4 年頃から統合の話があったが、四小は他校の問題で統合の対象にされている。
- ・ 教委はもっと地域の意見を聞いて時間をかけて進めるべきではないか。
- ・ 推計では一小、三小、四小は増えていくが、花園小と六小は減っていく。花園小と六小も含めて考えるべきではないか。
- ・ 小規模校が必ずしも悪いわけではない。新校を建てるなら、3 校とも建てればいいのかではないか。
- ・ 教委が悪いと言ってすむ問題ではない。各校とも PTA は厳しい状況の中で、子どもたちのために切実に統合を望んでいる。それを地域も理解してほしい。
- ・ 子どもたちが隣接校や私立、他区などに行ってしまう流れは止められない。早く統合して活気のある良い学校を作れば、子どもたちを呼び戻すことが出来る。
- ・ 地域と PTA がもっと打ち解けて理解しあわないとうまく行かないのではないか。
- ・ とにかく協議会としては期限を決めて時期と校地を決めていきたい。いったん教委にあずけて、タタキ台を示してもらいたい。